

# 原子力関連企業ではなく、第三者が断層の調査・評価を行うべき 原発を運転したまま、調査・評価に12月末までかけるなど言語道断

大飯3・4号を直ちに停止させ、早急に調査・評価を行わせよう

国の意見聴取会の委員にメールやFAXを(委員の名簿は裏面にあります)



7月17日の国の「地震・津波に関する意見聴取会」では、多くの委員が大飯原発敷地内を走る断層の再調査が必要であると発言しました。原子力安全・保安院は、翌18日、断層調査を実施することを発表しました。これは、市民や専門家、国会議員の現地調査を求める声に押されてのことです。保安院の指示を受け、7月25日、関西電力は、再調査の計画書を保安院に提出しました。7月31日に開かれる「地震・津波に関する意見聴取会」で、この再調査計画の内容等についての審議が行われる予定です。しかし、この再調査計画には極めて大きな問題があります。

## 断層の再調査の実施主体は、またも大飯原発を建設した三菱重工の関連会社

7月17日の意見聴取会では、志賀原発の調査も含めて、断層調査が「特定の人だけに依存しているのではないか」と委員から厳しい指摘がありました。これは、電力会社の調査と国の審査の在り方そのものを批判した意見であり、多くの市民や国会議員の率直な気持ちを代弁したものでした。

今回関電が発表した追加調査の実施主体は、(株)ダイヤコンサルタントです。この会社は、大飯原発3・4号の設置許可申請当時、問題となっているトレンチ掘削調査を実施した会社であり、大飯原発3・4号の建設を行った三菱重工の関連会社です。

また、大飯原発3・4号の設置許可申請当時、地質などの調査を行っていたのは、関電興業(株)です(現在の社名は関電プラント(株))。これは、関電が100%出資する子会社です。

このように、身内企業や原発を建設する会社の関連企業が調査を行っていたことは、調査の公平性・信憑性に重大な問題があります。それにもかかわらず、今回もまた同一の会社に調査を実施させることなど許されることではありません。

## 原発の運転を継続したまま12月末まで調査に時間をかけるのではなく、 原発を止めて早急に調査・評価を行うべき

関電が公表した「追加調査の実施工程」では、最終報告が今年12月末、中間報告が10月末となっています。調査はもっと迅速にできるはずで、とりわけ問題になっているF-6断層が走っている箇所のトレンチ掘削調査は、掘削と埋め戻しを入れても1週間もあれば可能だと東洋大学の渡辺満久教授は述べています。関電の工程表では、トレンチ掘削調査だけでも2ヶ月を要する計画となっています。活断層である可能性を残したまま、大飯3・4号を運転し続けることは許されません。

意見聴取会の委員に対して、原発の運転を直ちに停止し、早急にトレンチ調査を行って、まずその結果を検討するように強く働きかけましょう。原子力関連企業ではなく、第三者が断層調査・評価を行うことを求めましょう。至急、皆さんからも、委員にメールやFAXなどで声を届けてください(委員の名簿は裏面にあります)。

国の「地震・津波に関する意見聴取会」(第20回)は7月31日(火)10:00~12:30  
詳しくは保安院のHP参照

# 国と意見聴取会委員に、今すぐ、メールや電話、FAXを！



◆**経済産業大臣** 枝野幸男 yukio@edano.gr.jp TEL：03-3508-7448 FAX：03-3591-2249  
〒100-8981 東京都千代田区永田町2丁目2-1 衆議院第1議員会館804号室

◆**原子力安全・保安院担当部署** shinsaka-gyomu@meti.go.jp  
原子力発電安全審査課耐震安全審査室 TEL：03-3501-6289 FAX：03-3580-8535  
〒100-8986 東京都千代田区霞が関1丁目3-1

## ◆「地震・津波に関する意見聴取会（活断層関係）」委員6名

- ・阿部 信太郎 shintaro-abe@aist.go.jp  
(独) 産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター地震災害予測研究チーム研究チーム長  
〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7 TEL:029-861-3691(代表) FAX：029-861-3803
- ・今泉 俊文 imat@m.tains.tohoku.ac.jp  
東北大学院理学研究科教授 地学専攻  
〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3  
TEL：022-795-6674 (事務室) FAX：022-795-6675 (事務室)
- ・岡村 行信 okamura-y@aist.go.jp  
(独) 産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター研究センター長  
〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7 TEL：029-861-3691(代表) FAX：029-861-3803
- ・杉山 雄一 sugiyama-y@aist.go.jp  
(独) 産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター主幹研究員  
〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7 TEL：029-861-3691(代表) FAX：029-861-3803
- ・遠田 晋次 toda@rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp  
京都大学防災研究所准教授 TEL：0774-38-4193  
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所 地震予知研究センター棟301号
- ・山本 博文 福井大学 教育地域科学部教授  
〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 TEL：0776-23-0500(代表) FAX：0776-27-8524

## 8月13日 大飯原発3・4号運転差し止め仮処分裁判・第4回審尋に集まろう！

★次回8月13日(月)の第4回審尋が結審です。関電はこれまで裁判の引き延ばしだけに力を注いできました。反論もすぐにできないのに、再稼働強行は許せません。司法へ公正な判決を求めましょう。

- ・集合 11:30 大阪地方裁判所正面玄関
- ・アピール行動 12:00~13:00 「大飯原発3・4号止めて！」の想いを司法に届けましょう。
- ・審尋 13:30~14:00頃 大阪地裁508号室 ※審尋の傍聴は原告のみです。
- ・呼びかけ 大飯原発運転差し止め仮処分裁判原告団

グリーン・アクション info@greenaction-japan.org

京都市左京区田中関田町22-75-103 TEL 075-701-7223 FAX 075-702-1952

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会(美浜の会) mihama@jca.apc.org

大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581

2012.7.27